



## 2025年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年7月11日

上場会社名 エコモット株式会社 上場取引所 東 札  
コード番号 3987 URL <https://www.ecomott.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 入澤 拓也  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 武田 研輔 TEL 011-558-2211  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年8月期第3四半期の連結業績（2024年9月1日～2025年5月31日）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期第3四半期	2,030	△2.5	11	△3.3	14	△53.3	△57	—
2024年8月期第3四半期	2,083	11.8	11	—	32	—	△0	—

(注) 包括利益 2025年8月期第3四半期 △57百万円 (—%) 2024年8月期第3四半期 △0百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年8月期第3四半期	△10.99	—
2024年8月期第3四半期	△0.09	—

(参考) 持分法投資損益 2025年8月期第3四半期 0百万円 2024年8月期第3四半期 11百万円

(注) 2025年8月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また潜在株式が存在しないため記載していません。

2024年8月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また潜在株式が存在しないため記載していません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年8月期第3四半期	3,049	786	25.8
2024年8月期	2,584	863	33.4

(参考) 自己資本 2025年8月期第3四半期 786百万円 2024年8月期 863百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年8月期	—	0.00	—	—	—
2025年8月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年8月期の連結業績予想（2024年9月1日～2025年8月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,996	11.3	33	346.6	40	73.6	21	—	4.09

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年8月期3Q	5,280,400株	2024年8月期	5,280,400株
② 期末自己株式数	2025年8月期3Q	56,047株	2024年8月期	10,247株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年8月期3Q	5,265,635株	2024年8月期3Q	5,266,667株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(重要な後発事象) .....	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「未来の常識を創る。」をミッションとし、IoT技術を駆使したソリューションで幅広い業界の課題解決に貢献する「IoTビジネスイノベーション」、建設現場のDXに特化したIoTソリューションで建設業界の課題解決に貢献する「コンストラクションソリューション」、GXニーズに対応した太陽光発電EPC事業にIoTソリューションの付加価値創出でサステナビリティの実現に向けて取り組む「IoTパワード」の3つのソリューション区分で事業展開しております。

当第3四半期連結累計期間に於けるソリューション区分毎の市場環境及び経営戦略についての認識は以下のとおりです。

「IoTビジネスイノベーション」は特定の産業を対象としておりませんが、日本が抱える社会課題である労働人口の減少に対する各企業の取り組みを支援し、遠隔操作や監視を活用し省人化・効率化を図ること等の要望をIoT技術で解決してまいります。また、国内IoT市場も既に5兆円を超える規模と試算されており、今後も年約8%成長が見込まれる市場に属しております。当ソリューションでは高利益率を背景に今後も安定した売上成長に取り組んでいく所存です。

「コンストラクションソリューション」が事業を推進する建設業界は、国内企業の建設投資意欲や公共投資が底堅く推移しており、建設需要が増加基調となっております。一方で、人件費や建設資材価格が高水準で推移しており、建設各社は生産性と収益性の改善が求められております。さらに、慢性的な人手不足や長時間労働が常態化している構造的な課題に加え、2024年4月の「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」の上限規制の建設業に対する適用への対応に迫られております。これらの課題を解決するため、建設業界においては、DX推進が喫緊の課題となっておりIT投資意欲は旺盛に推移しております。当ソリューションではこれら建設DXニーズを獲得し市場シェアを拡大する為の先行投資を可能とするべく、資金調達候補先と協議を進めております。

「IoTパワード」が事業を推進するGX分野においても、日本が掲げる2030年度の温室効果ガス46%削減、2050年カーボンニュートラルの実現という国際公約に向け各企業の取り組みは強化されてきており、今後益々のESG投資が見込まれる中、クリーンエネルギー設備への投資も増加が予想されております。当ソリューションでは、これらGXニーズを獲得し市場シェアを拡大すべく、今期は戦略的なコスト投下が必要な先行投資期間と位置付けており、2025年度以降の売上・利益拡大フェーズに向けた組織整備、パートナー会社等ネットワークの強化に重点的に取り組む所存です。また、auリニューアブルエナジー株式会社と太陽光発電所開発に係るパートナーシップ協定を締結しております。

以上、3つのソリューション区分全て成長市場で事業を推進しておりますが、その反面、市場への魅力から競合他社も多く参入してきており、競争も激化していると認識しております。

当第3四半期連結累計期間の業績は、以下のとおりです。

売上高2,030,436千円（前年同四半期比2.5%減）、営業利益11,344千円（前年同四半期3.3%減）、経常利益14,986千円（前年同四半期53.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失57,891千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失459千円）となりました。なお、当社グループは提供するサービスの性質上、売上高の計上に関して以下の通り季節的変動があります。

事業セグメント	ソリューション区分	ソリューション区分を構成する事業又は連結子会社	ソリューション区分の位置付け
IoTインテグレーション事業	IoTビジネスイノベーション	インテグレーションソリューション	中核事業である、IoTインテグレーションを中心に、DXを支援。また、「ゆりもっと」等、IoTプロダクト販売等を行う。
		モニタリングソリューション	
	モビリティサービス		
	コンストラクションソリューション	株式会社GRIFY	建設現場の安全性、生産性、施工品質水準をデジタルテクノロジーによって向上させ、これを以て日本国土の発展ならびに防災に貢献する。
	IOTパワード	株式会社パワーでんきイノベーション	GX分野として太陽光発電EPC事業にIoT技術を付加して同業他社と差別化し、日本が掲げる国際公約実現に向け貢献する。

報告セグメントにつきましてはIoTインテグレーション事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しておりますが、各ソリューション区分に沿って当第3四半期連結累計期間の業績をご報告致します。

（IoTビジネスイノベーション）

当ソリューションは主としてエコモット株式会社が担っており、自社開発ソリューションである融雪システム遠隔監視ソリューション「ゆりもつと」、KDDI株式会社との連携強化による「KDDI IoTクラウドStandard」の機能改善、大型案件の継続受注、株式会社ユアスタンドとの業務・資本提携によるEV充電スタンドの拡販、株式会社プレステージ・インターナショナルのグループ企業である株式会社プレミア・エイドとの合弁会社「株式会社プレミア・ブライコネクト」におけるモビリティサービスの協業、積水樹脂株式会社とのシナジー等、大手企業及び協力会社との協業を軸に事業拡大に注力致しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間においては、ゆりもつと、積水樹脂株式会社との共同開発が順調に推移し利益率も改善しておりますが、EV充電スタンド及びモビリティサービスの受注が想定より伸長せず、売上高は801,998千円（前年同四半期比0.7%減）となりました。

（コンストラクションソリューション）

当ソリューションは主として株式会社GRIFY（グリフィー）が担っており、自社開発ソリューションである建設現場向けDXサービス「現場ロイド」を中心に、建設DX製品を数多く取り揃えている他、大手ゼネコンとの共同製品開発等にも注力致しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間においては、売上高は754,252千円（前年同四半期比7.6%増）となりました。

（IoTパワーワード）

当ソリューションは主として株式会社パワーでんきイノベーションが担っており、太陽光発電設備に係る土地開発・施工販売・O&Mを主力事業とし、組織整備・パートナー会社等ネットワーク強化に注力致しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間においては、売上高は474,185千円（前年同四半期比17.5%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（流動資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、2,399,592千円と前連結会計年度末（2,012,407千円）と比較し387,184千円増加しました。これは主に、前渡金が271,465千円、現金及び預金が94,001千円、販売用発電設備が53,961千円、原材料及び貯蔵品が41,311千円それぞれ増加した一方、受取手形、売掛金及び契約資産が73,254千円減少したことによるものです。

（固定資産）

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、649,938千円と前連結会計年度末（571,779千円）と比較し78,158千円増加しました。これは主に、無形固定資産が68,980千円、投資その他の資産が21,173千円それぞれ増加した一方、有形固定資産が11,995千円、減少したことによるものです。

（流動負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、1,833,588千円と前連結会計年度末（1,354,229千円）と比較し479,358千円増加しました。これは主に、短期借入金が305,635千円、契約負債が67,204千円、その他流動負債が61,314千円、工事未払金が19,627千円、支払手形及び買掛金が18,095千円それぞれ増加したことによるものです。

（固定負債）

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、429,028千円と前連結会計年度末（365,976千円）と比較し63,051千円増加しました。これは主に、長期借入金が84,446千円、退職給付に係る負債が4,327千円、それぞれ増加した一方、その他固定負債が25,722千円減少したことによるものです。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、786,914千円と前連結会計年度末（863,980千円）と比較し77,066千円減少しました。これは親会社株主に帰属する四半期純損失57,891千円を計上し、自己株式取得により自己株式が19,172千円増加したことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年8月期の連結通期業績予想につきましては、2024年10月15日公表の「2024年8月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	582,791	676,793
電子記録債権	227,395	219,248
受取手形、売掛金及び契約資産	314,850	241,596
商品及び製品	62,456	71,597
販売用発電設備	18,925	72,887
仕掛品	3,267	12,106
仕掛販売用発電設備	60,266	77,034
未成工事支出金	22,843	997
原材料及び貯蔵品	118,164	159,476
前渡金	513,318	784,784
その他	88,918	83,609
貸倒引当金	△790	△540
流動資産合計	2,012,407	2,399,592
固定資産		
有形固定資産	228,693	216,697
無形固定資産		
のれん	7,781	5,985
その他	90,635	161,411
無形固定資産合計	98,416	167,396
投資その他の資産	244,670	265,843
固定資産合計	571,779	649,938
資産合計	2,584,187	3,049,530
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	79,968	98,064
工事未払金	15,296	34,923
短期借入金	420,220	725,855
1年内返済予定の長期借入金	158,450	168,504
未払法人税等	13,627	27,071
契約負債	427,603	494,807
賞与引当金	51,977	35,960
その他	187,086	248,401
流動負債合計	1,354,229	1,833,588
固定負債		
長期借入金	287,490	371,936
退職給付に係る負債	23,150	27,478
その他	55,335	29,613
固定負債合計	365,976	429,028
負債合計	1,720,206	2,262,616
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	617,966	617,966
資本剰余金	608,125	608,125
利益剰余金	△350,352	△408,243
自己株式	△11,855	△31,028
株主資本合計	863,884	786,819
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	96	94
その他の包括利益累計額合計	96	94
純資産合計	863,980	786,914
負債純資産合計	2,584,187	3,049,530

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)
売上高	2,083,169	2,030,436
売上原価	1,314,036	1,276,879
売上総利益	769,133	753,556
販売費及び一般管理費	757,407	742,212
営業利益	11,725	11,344
営業外収益		
受取利息	28	340
受取配当金	8	10
違約金収入	3,783	3,749
補助金収入	3,000	12,511
持分法による投資利益	11,812	347
その他	8,151	2,014
営業外収益合計	26,784	18,973
営業外費用		
支払利息	5,701	9,794
棚卸資産処分損	—	3,910
その他	703	1,626
営業外費用合計	6,404	15,331
経常利益	32,105	14,986
特別利益		
固定資産売却益	9	46
特別利益合計	9	46
特別損失		
固定資産除却損	182	755
訴訟和解金	—	50,000
特別損失合計	182	50,755
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	31,932	△35,722
法人税、住民税及び事業税	31,185	24,582
法人税等調整額	1,205	△2,413
法人税等合計	32,391	22,169
四半期純損失(△)	△459	△57,891
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△459	△57,891

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)
四半期純損失(△)	△459	△57,891
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	200	△1
その他の包括利益合計	200	△1
四半期包括利益	△259	△57,893
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△259	△57,893

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は2025年4月14日開催の取締役会において、自己株式の取得枠150,000株(上限)を設定することについて決議し、当第3四半期連結会計期間末において45,800株の取得が完了しております。これにより、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が19,172千円増加いたしました。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)
減価償却費	53,232千円	76,158千円
のれんの償却額	1,795 "	1,795 "

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、IoTインテグレーション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。